

2022年1月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、今後ますます必須となってくるデジタル化について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2022年1月13日(木)～1月31日(月)

3 調査対象

市内事業者500社

4 調査方法

WEB調査

(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	222社
回答率	44.4%

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期から持ち直しの動きが見られるが、見通しについては、いまだ厳しい状況である。

特別調査

新型コロナウイルス感染症の影響について
販路について
デジタル化・DXについて

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

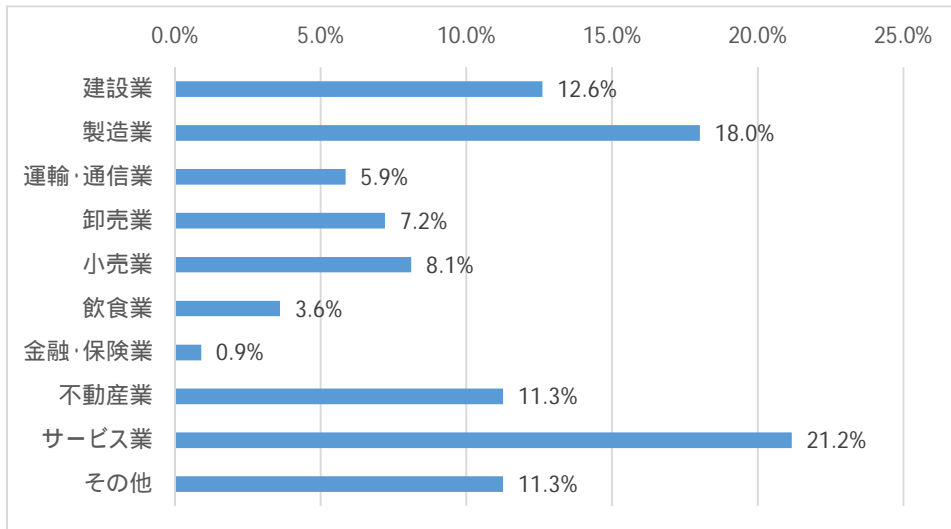
<例> 「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%
 $DI = 50\% - 30\% = 20$

本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

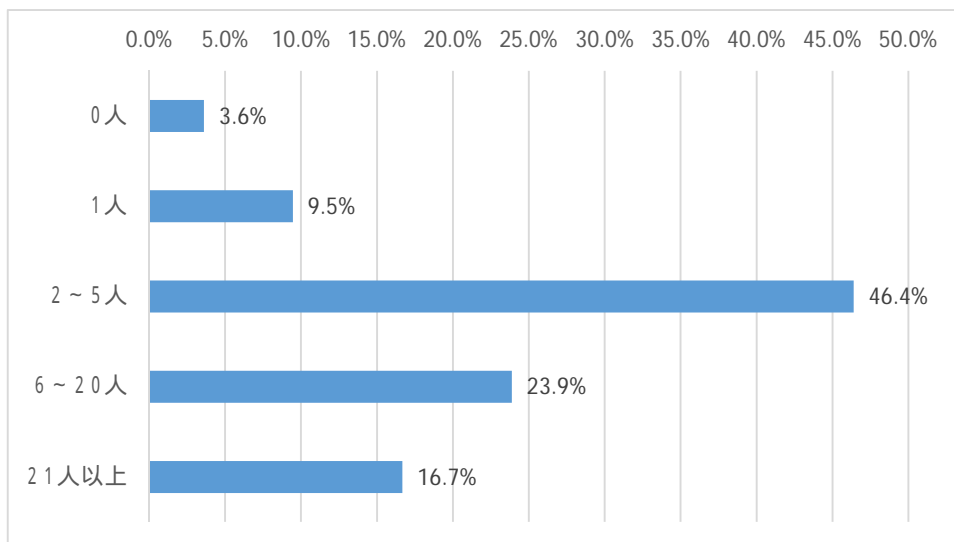
1 事業所の業種

業種分類は、「サービス業」が21.2%、「製造業」が18.0%、「建設業」が12.6%で続き、以下「不動産業」、「小売業」、「卸売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」、「金融・保険業」となっている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が46.4%、「6～20人」が23.9%、「21人以上」が16.7%、「1人」、「0人」が続いている。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっていることがうかがえる。



1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

- ・実績見込み: 令和3年度下期は、令和3年度上期と比べていかがか。
- ・見通し: 令和4年度上期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

10項目

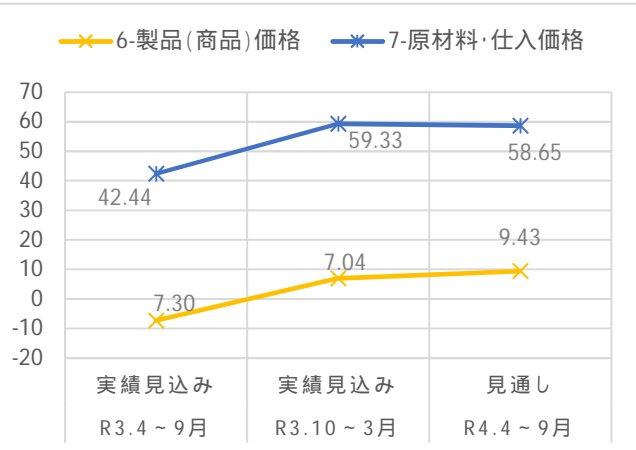
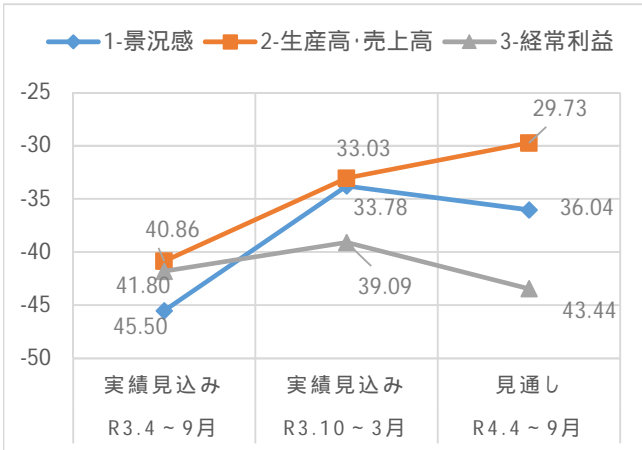
- (1) 景況感 (2) 生産高・売上高 (3) 経常利益 (4) 雇用人員
 (5) 労働時間 (6) 製品(商品)価格 (7) 原材料・仕入価格
 (8) 製品(商品)在庫 (9) 資金繰り (10) 設備投資

上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

今期(令和3年下期)の「景況感DI」は、-33.78となり、前期と比較して11.72ポイント増加し、改善傾向である。しかしながら、見通しについては、今期から2.26ポイント減少とやや厳しい状況である。「生産高・売上高DI」は、-33.03となり、前期と比較して7.83ポイント増加し、上昇傾向である。見通しについても、今期から3.3ポイント増加と上昇傾向である。「経常利益DI」は、前期と比較してやや上昇傾向であるが、見通しについては、厳しい状況である。「製品(商品)価格DI」は、前期-7.3、今期7.04と14.34ポイント増加している。「原材料・仕入価格DI」では16.89ポイント増加となっている。

下の折れ線グラフでは、景況感への影響の強い5項目(景況感、生産高・売上高、経常利益、製品(商品)価格、原材料・仕入価格)を掲載している。

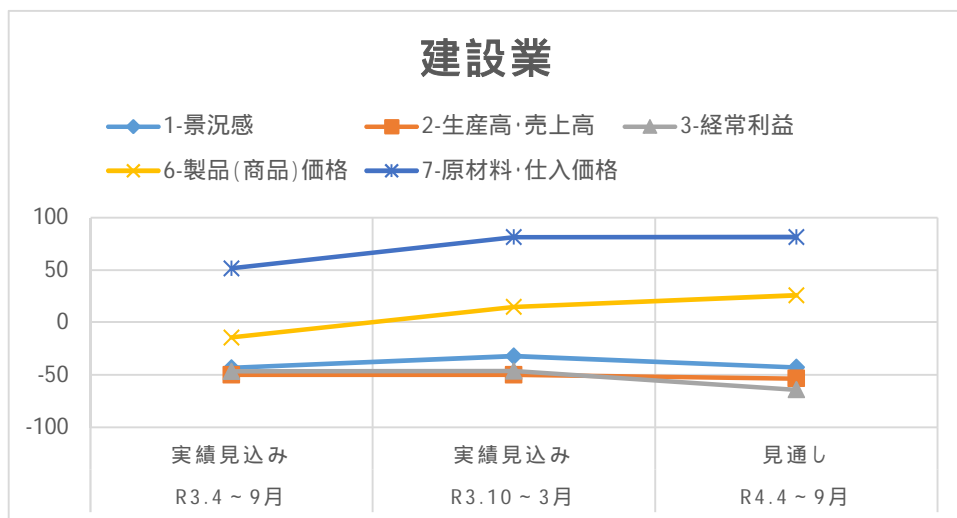


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	45.50	33.78	36.04
2-生産高・売上高	40.86	33.03	29.73
3-経常利益	41.80	39.09	43.44
4-雇用人員	15.96	25.45	27.15
5-労働時間	19.35	10.91	10.86
6-製品(商品)価格	7.30	7.04	9.43
7-原材料・仕入価格	42.44	59.33	58.65
8-製品(商品)在庫	9.25	3.43	3.94
9-資金繰り	25.81	21.72	22.17
10-設備投資	7.10	0.47	2.33

〔建設業の概要〕

「景況感DI」は-32.14となり、前期から11.19ポイント増加と改善傾向だが「見通し」については-42.86と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-50.0となり、前期同様であり、「見通し」については、3.57ポイント減少の-53.57と下降傾向である。「経常利益DI」は-46.43となり、前期から若干の上昇が見られるが、「見通し」-64.29と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は、前期-14.29、今期14.81と上昇傾向であり、「原材料・仕入価格DI」は、前期51.72、今期81.48と大幅な上昇傾向である。



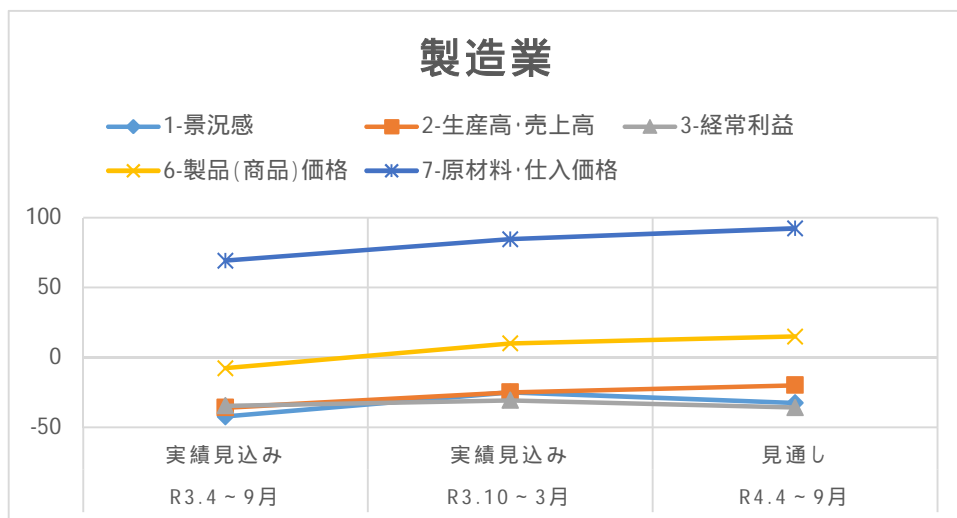
質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	43.33	32.14	42.86
2-生産高・売上高	50.00	50.00	53.57
3-経常利益	46.67	46.43	64.29
4-雇用人員	33.33	46.43	42.86
5-労働時間	33.33	17.86	10.71
6-製品(商品)価格	14.29	14.81	25.93
7-原材料・仕入価格	51.72	81.48	81.48
8-製品(商品)在庫	6.90	0.00	0.00
9-資金繰り	33.33	21.43	25.00
10-設備投資	16.67	14.29	17.86

〔製造業の概要〕

「景況感DI」は-25.0となり、前期から17.31ポイント増加と改善傾向だが、見通しについては-32.5と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-25.00となり、前期-36.0から上昇傾向であり、見通しについても-20.0と上昇傾向である。「経常利益DI」は-30.77となり、前期からやや上昇が見られるが、見通しは-35.9と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は、前期-7.69、今期10.0と上昇傾向である。

特に、「原材料・仕入価格DI」は、前期69.23、今期84.62と大幅に上昇しており、見通しについても92.31と上昇傾向である。

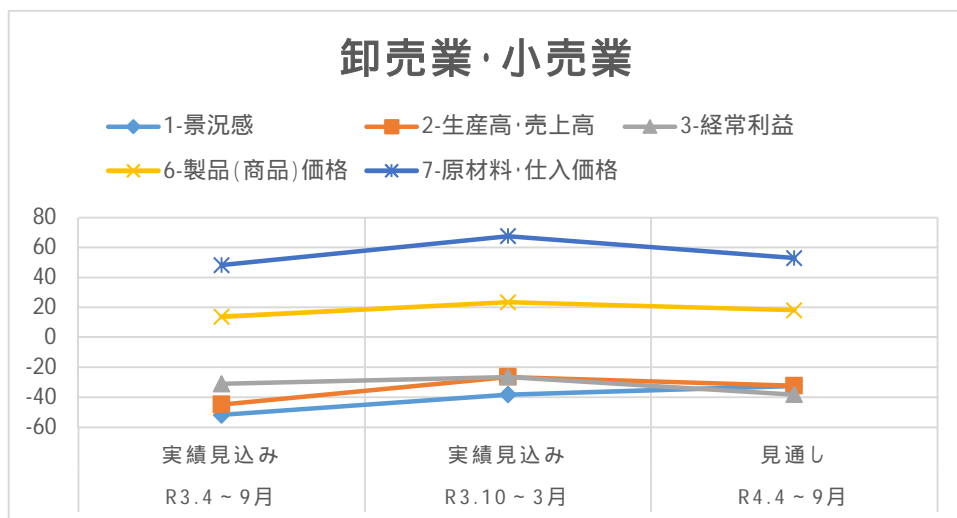


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	42.31	25.00	32.50
2-生産高・売上高	36.00	25.00	20.00
3-経常利益	34.62	30.77	35.90
4-雇用人員	15.38	30.00	35.00
5-労働時間	19.23	15.00	12.50
6-製品(商品)価格	7.69	10.00	15.00
7-原材料・仕入価格	69.23	84.62	92.31
8-製品(商品)在庫	4.00	10.53	7.89
9-資金繰り	15.38	22.50	27.50
10-設備投資	15.38	5.00	2.50

〔卸売業・小売業の概要〕

「景況感DI」は-38.24となり、前期-51.72から改善傾向であり、見通しについても-32.35と改善傾向が見られる。「生産高・売上高DI」、「経常利益DI」は、ともに-26.47となり、前期から上昇が見られるが、見通しについてはともに下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は、前期13.79、今期23.53と上昇しているが、見通しについては18.18と下降傾向である。「原材料・仕入価格DI」についても、前期48.28、今期67.65と上昇傾向だが、見通しについては、18.18と下降傾向である。

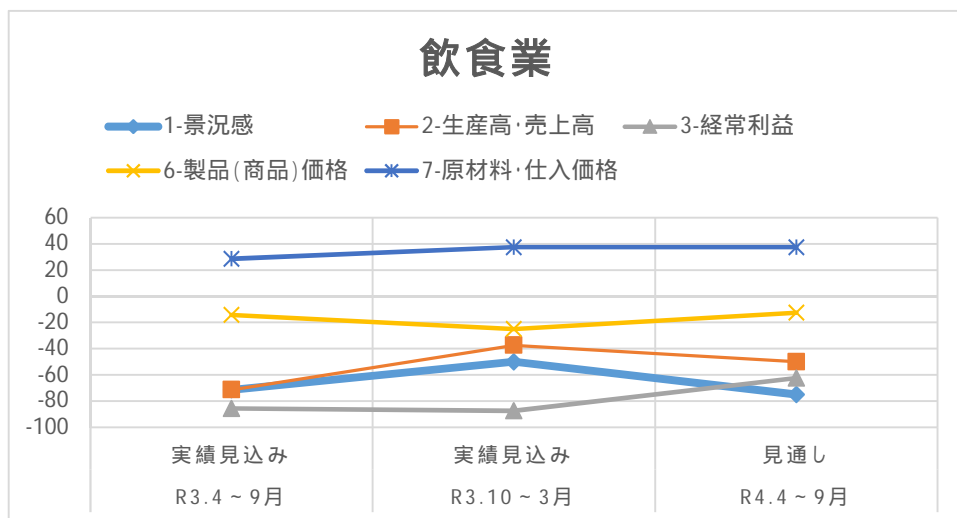


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	51.72	38.24	32.35
2-生産高・売上高	44.83	26.47	32.35
3-経常利益	31.03	26.47	38.24
4-雇用人員	24.14	14.71	20.59
5-労働時間	21.43	5.88	8.82
6-製品(商品)価格	13.79	23.53	18.18
7-原材料・仕入価格	48.28	67.65	52.94
8-製品(商品)在庫	6.90	17.65	11.76
9-資金繰り	20.69	20.59	11.76
10-設備投資	3.57	8.82	17.65

〔飲食業の概要〕

「景況感DI」は-50.0となり、前期から21.43ポイント増加と改善傾向だが、見通しについては再び-75.0と悪化している。「生産高・売上高DI」は-37.50となり、前期-71.43と比べ大幅に上昇したが、見通しについては、-50.00と下がり、厳しい状況が懸念される。「経常利益DI」は-87.50と前期-85.71に比べ若干の上昇傾向にあり、見通しについても-62.50と上昇傾向である。

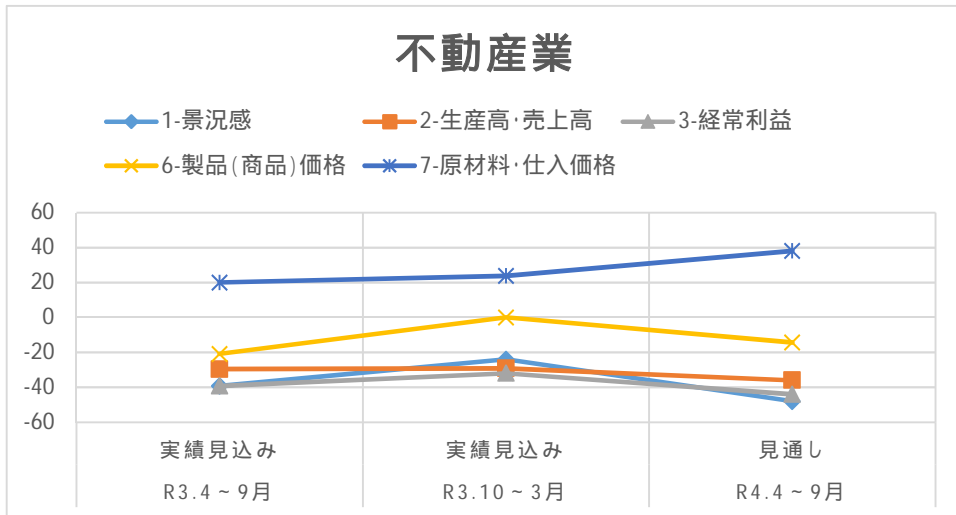
「製品(商品)価格DI」は、前期-14.29、今期-25.0と下降傾向だが、見通しについては、-12.50と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」も、前期28.57、今期37.50と上昇傾向だが、見通しについては、37.50と横ばいである。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	71.43	50.00	75.00
2-生産高・売上高	71.43	37.50	50.00
3-経常利益	85.71	87.50	62.50
4-雇用人員	14.29	25.00	37.50
5-労働時間	57.14	25.00	25.00
6-製品(商品)価格	14.29	25.00	12.50
7-原材料・仕入価格	28.57	37.50	37.50
8-製品(商品)在庫	57.14	25.00	25.00
9-資金繰り	14.29	0.00	0.00
10-設備投資	14.29	12.50	12.50

〔不動産業の概要〕

「景況感DI」は-24.0となり、前期から15.29ポイント増加と改善傾向だが、見通しについては-48.0と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-29.17となり、前期-29.63から若干の上昇傾向だが、見通しについては-36.0と下降傾向である。「経常利益DI」は-32.0となり、前期の-39.29から上昇が見られるが、見通しは-44.0と下降傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は、前期-20.83、今期0.0と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は、前期20.0、今期23.81と上昇しており、見通しについても38.10と上昇傾向である。

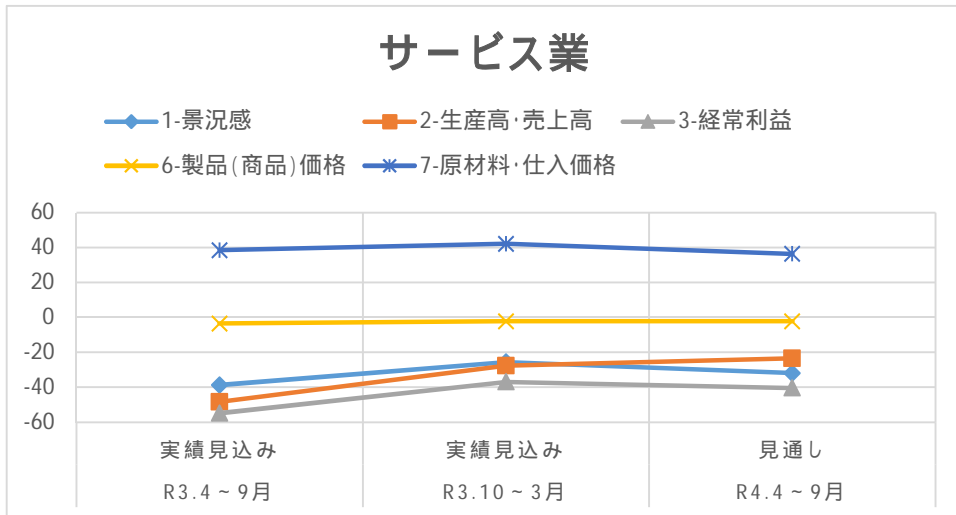


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	39.29	24.00	48.00
2-生産高・売上高	29.63	29.17	36.00
3-経常利益	39.29	32.00	44.00
4-雇用人員	18.52	0.00	4.00
5-労働時間	3.70	8.33	8.00
6-製品(商品)価格	20.83	0.00	14.29
7-原材料・仕入価格	20.00	23.81	38.10
8-製品(商品)在庫	4.17	9.52	4.76
9-資金繰り	25.93	24.00	32.00
10-設備投資	11.11	17.39	12.50

〔サービス業の概要〕

「景況感DI」は-25.53となり、前期から13.18ポイント増加と改善傾向だが、見通しについては-31.91と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-27.66となり、前期-48.39から上昇傾向にあり、見通しについても-23.4と上昇傾向である。「経常利益DI」は-36.96となり、前期の-54.84から上昇が見られるが、見通しは-40.43と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は、前期-3.45、今期-2.17と上昇傾向だが、見通しについては-2.17と横ばいである。「原材料・仕入価格DI」は、前期38.46、今期42.22と上昇傾向だが、見通しについては36.36と下降傾向である。

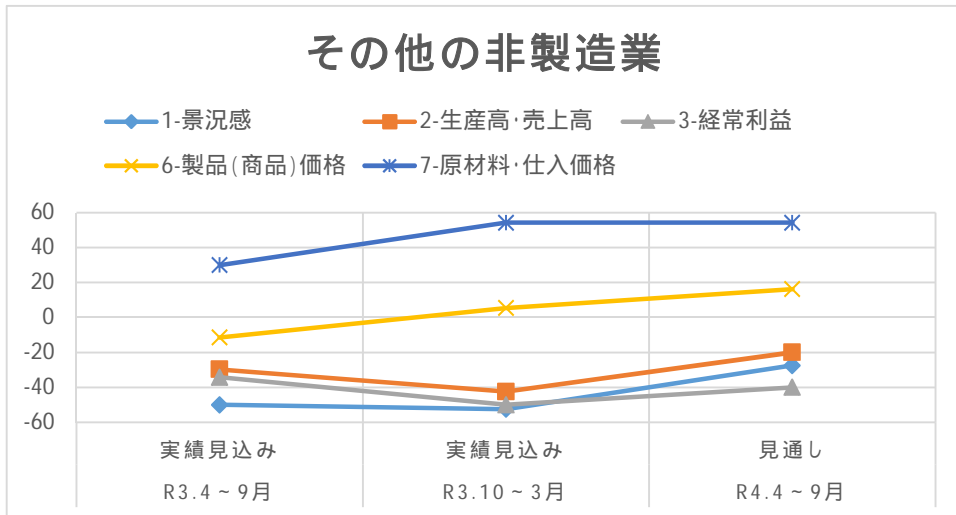


質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	38.71	25.53	31.91
2-生産高・売上高	48.39	27.66	23.40
3-経常利益	54.84	36.96	40.43
4-雇用人員	3.23	26.09	27.66
5-労働時間	12.90	8.51	12.77
6-製品(商品)価格	3.45	2.17	2.17
7-原材料・仕入価格	38.46	42.22	36.36
8-製品(商品)在庫	3.85	7.14	9.52
9-資金繰り	32.26	21.28	21.28
10-設備投資	13.79	0.00	9.09

〔その他の非製造業(運輸・通信業、金融・保険業、その他)の概要〕

「景況感DI」は-52.50となり、前期-50.0とほぼ横ばいだが、見通しについては-27.50と改善傾向が見られる。「生産高・売上高DI」は-42.50となり、前期-29.73から下降傾向だが、見通しについては-20.0と上昇傾向である。「経常利益DI」は-50.0となり、前期の-34.21から悪化傾向が見られるが、見通しは-40.0と持ち直している。

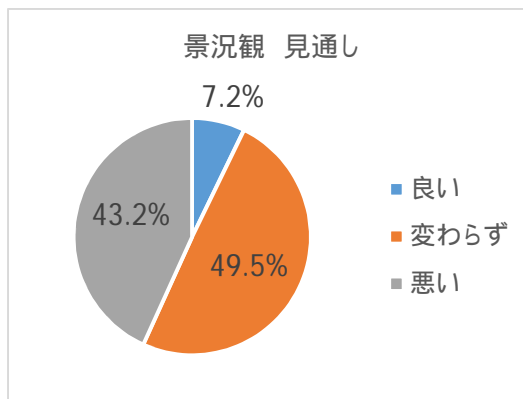
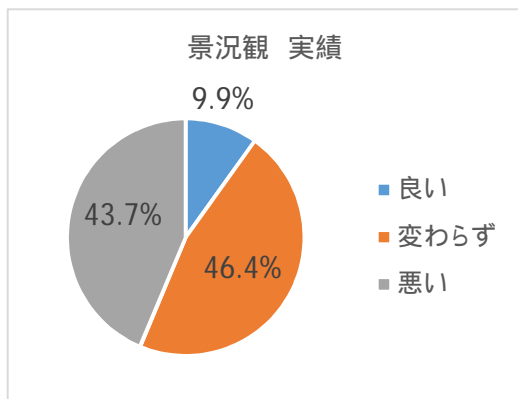
「製品(商品)価格DI」は、前期-11.43、今期5.41と上昇傾向であり、見通しについても16.22と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は、前期30.0、今期54.29と上昇傾向だが、見通しについては54.29と横ばいである。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月
	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	50.00	52.50	27.50
2-生産高・売上高	29.73	42.50	20.00
3-経常利益	34.21	50.00	40.00
4-雇用人員	5.26	30.77	30.77
5-労働時間	21.62	17.95	17.95
6-製品(商品)価格	11.43	5.41	16.22
7-原材料・仕入価格	30.00	54.29	54.29
8-製品(商品)在庫	15.15	5.88	6.06
9-資金繰り	27.78	25.64	23.08
10-設備投資	2.78	13.51	24.32

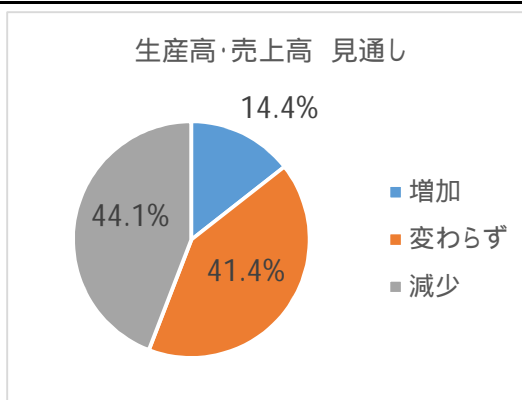
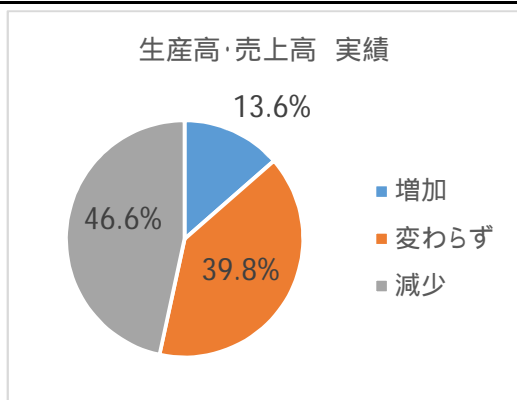
Q1-(1)景況感

- ・景況感の実績について、悪いと回答した事業者が約4割を占めている。
- ・景況感の見通しについて、ほぼ横ばいだが、良いと回答した事業者の割合が2.7ポイント減少している。



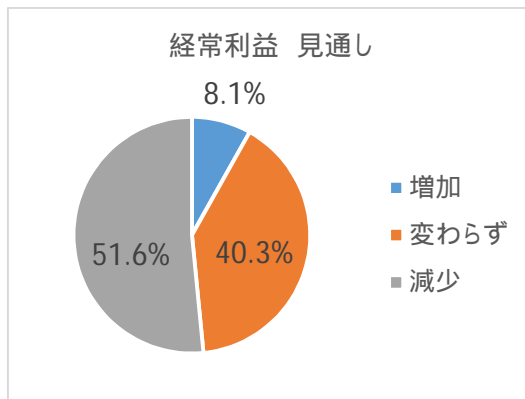
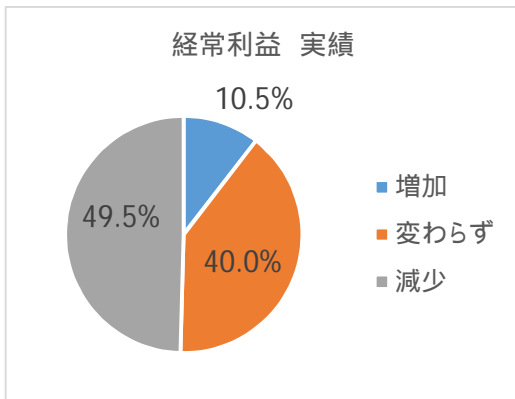
Q1-(2)生産高・売上高

- ・生産高・売上高の実績について、減少と回答した事業者が約5割を占めている。
- ・生産高・売上高の見通しについて、減少と回答した事業者の割合が2.5ポイント減少している。



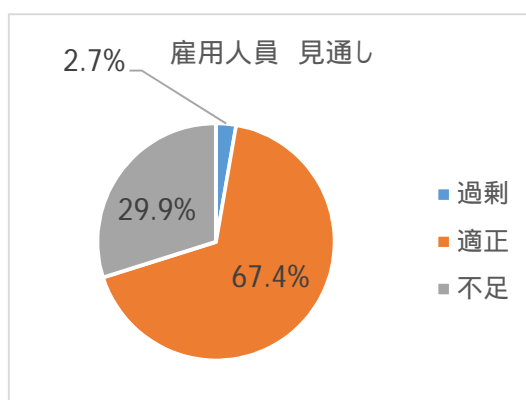
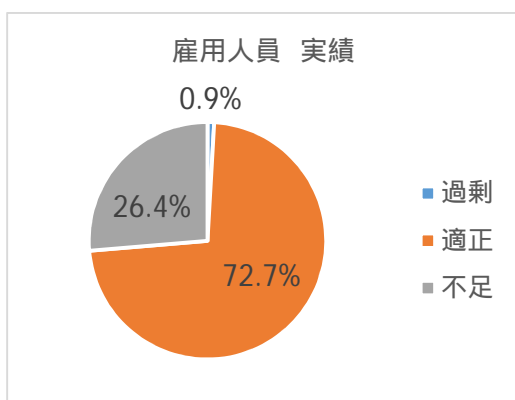
Q1-(3)経常利益

- ・経常利益の実績について、減少と回答した事業者が約5割を占めている。
- ・経常利益の見通しについて、減少と回答した事業者の割合が2.1ポイント増加している。



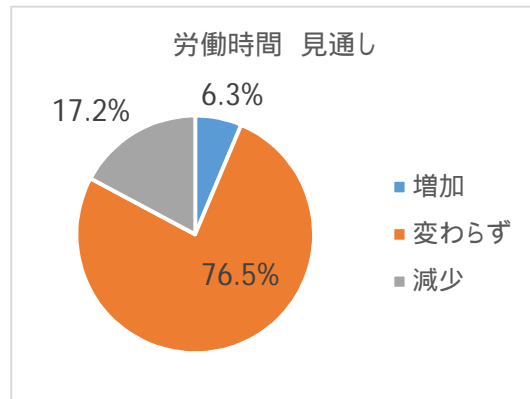
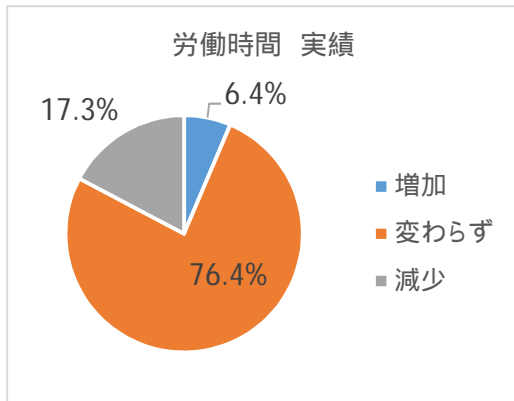
Q1-(4)雇用人員

- ・雇用の実績について、適正と回答した事業者が約3/4を占めている。
- ・雇用の見通しについて、不足と回答した事業者の割合が3.5ポイント増加している。一方、過剰と回答した事業者の割合が1.8ポイント増加している。



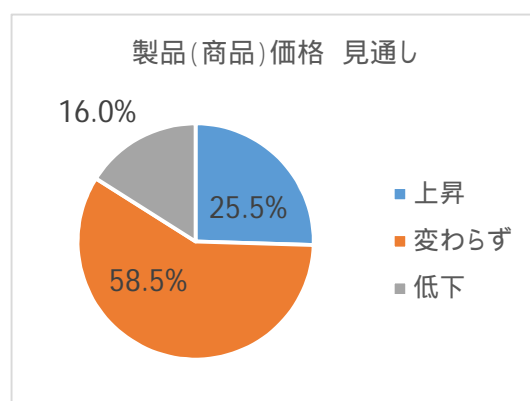
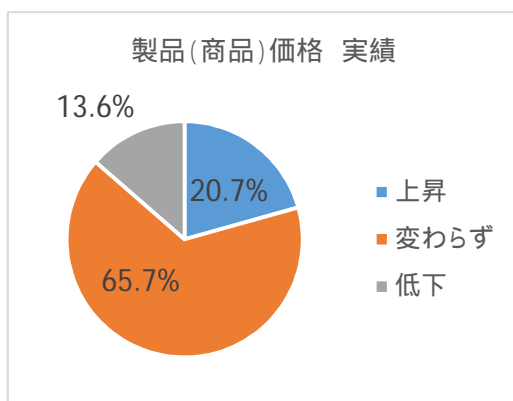
Q1-(5)労働時間

- ・労働時間の実績について、変わらないと回答した事業者が約3/4を占めている。
- ・労働時間の見通しについて、ほぼ横ばいとなり、実績と同じく変わらないと回答した事業者が約3/4を占めている。



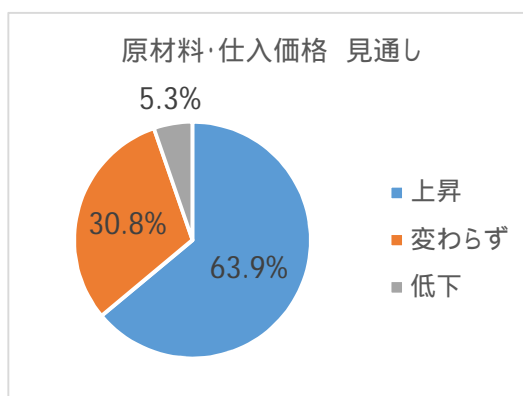
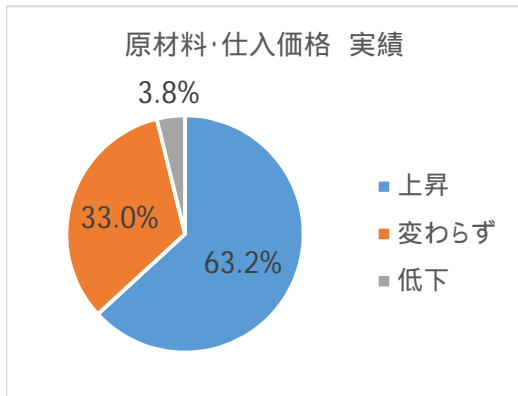
Q1-(6)製品(商品)価格

- ・製品(商品)価格の実績について、変わらないと回答した事業者が約65%を占めている。
- ・製品(商品)価格の見通しについて、上昇と回答した事業者の割合が4.8ポイント増加している。



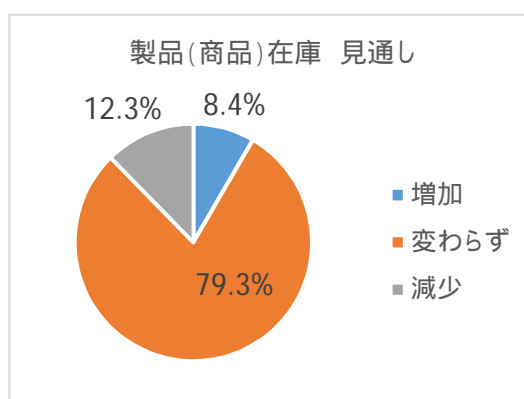
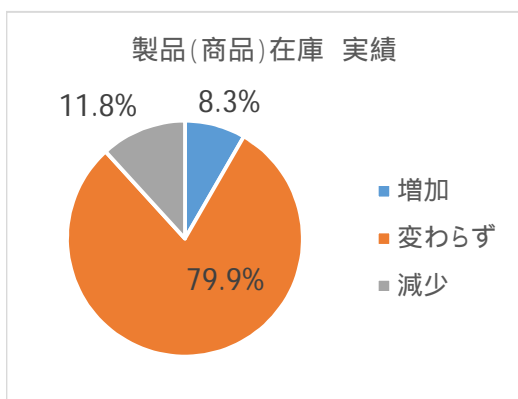
Q1-(7)原材料・仕入価格

・原材料・仕入価格の実績について、上昇と回答した事業者が約6割を占めている。
・原材料・仕入価格の見通しについて、ほぼ横ばいだが、低下と回答した事業者の割合が1.5ポイント増加している。



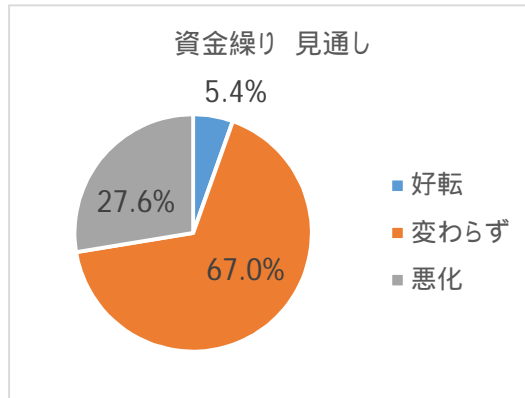
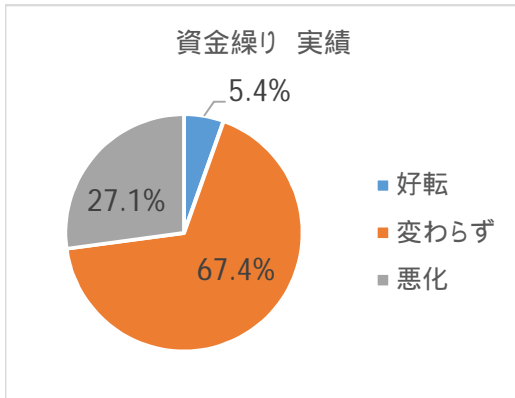
Q1-(8)製品(商品)在庫

・製品(商品)在庫の実績について、変わらないと回答した事業者が約8割を占めている。
・製品(商品)在庫の見通しについて、ほぼ横ばいだが、減少と回答した事業者の割合が0.5ポイント増加している。



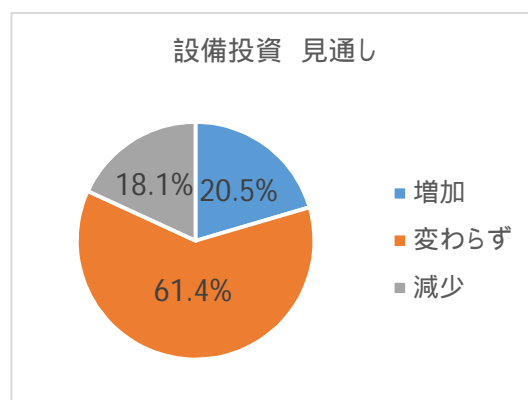
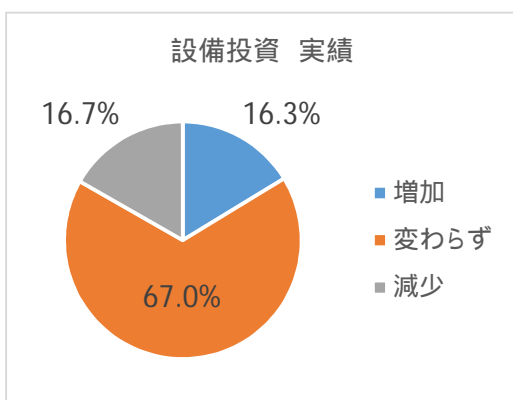
Q1-(9)資金繰り

- ・資金繰りの実績について、変わらないと回答した事業者が約67%を占めている。
- ・資金繰りの見通しについて、ほぼ横ばいだが、悪化と回答した事業者の割合が0.5ポイント増加している。



Q1-(10)設備投資

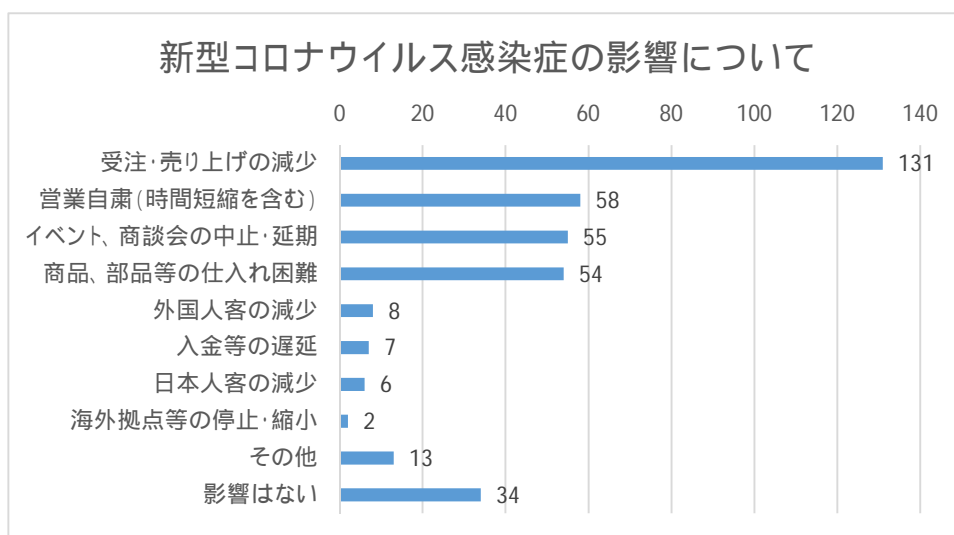
- ・設備投資の実績について、変わらないと回答した事業者が約67%を占めている。
- ・設備投資の見通しについて、増加と回答した事業者の割合が4.2ポイント増加している。



2 貴事業所の新型コロナウイルス感染症の影響について

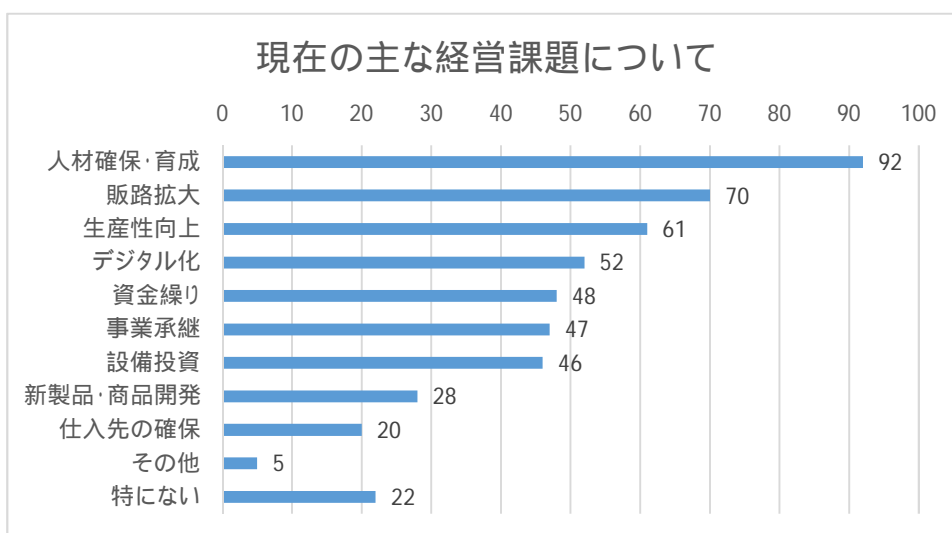
Q2-1 現在の新型コロナウイルス感染症の経営への影響について

- ・「受注・売り上げの減少」の回答が最も多く、131社である。
- ・次いで「営業自粛(時間短縮を含む)」、「イベント等の中止・延期」、「部品等の仕入れ困難」と続いている。
- ・「影響はない」の回答は、34社である。
- ・その他では、「小売業で、企業注文が減少しファミリー層の注文が増え、単価が減少した」などがある。



Q2-2 現在の主な経営課題について

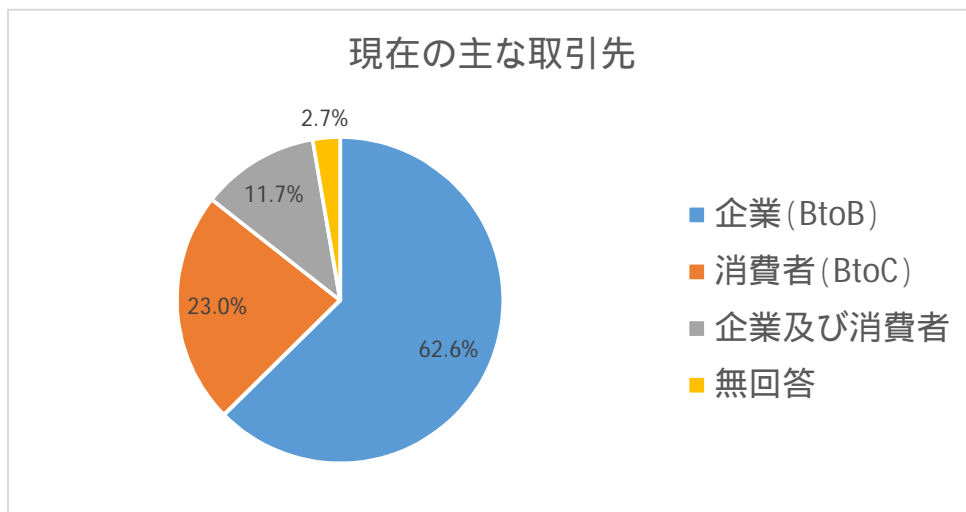
- ・主な経営課題では、「人材確保・育成」の回答が最も多く、92社であり、「販路拡大」70社、「生産性向上」61社と続いている。
- ・「デジタル化」の回答は、52社であり、4番目に多い回答である。
- ・「特にない」の回答は22社である。



3 貴事業所の販路について

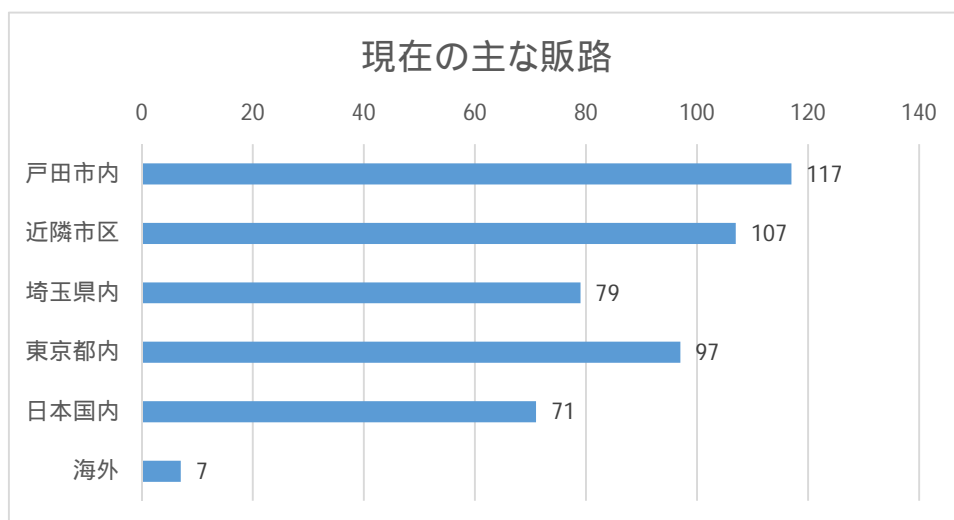
Q3-1 現在の主な取引先について

- ・「BtoB」と回答した割合が6割以上を占めている。
- ・企業及び消費者、BtoB、BtoCともに行っていると回答した割合は、11.7%である。



Q3-2 現在の主な販路について

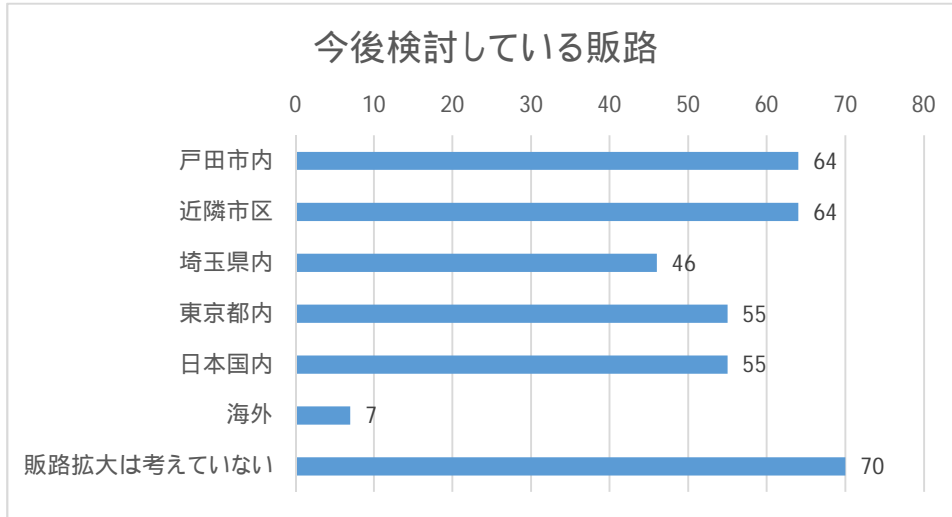
- ・「戸田市内」の回答が最も多く、117社であり、「近隣市区」107社、「東京都内」97社と続いている。
- ・「埼玉県内」の回答数に比べて、「東京都内」の回答数の方が多い。
- ・「海外」の回答は、7社であり、サービス業や製造業の事業者である。



近隣市区(さいたま市,朝霞市,川口市,和光市,蕨市,板橋区,北区)

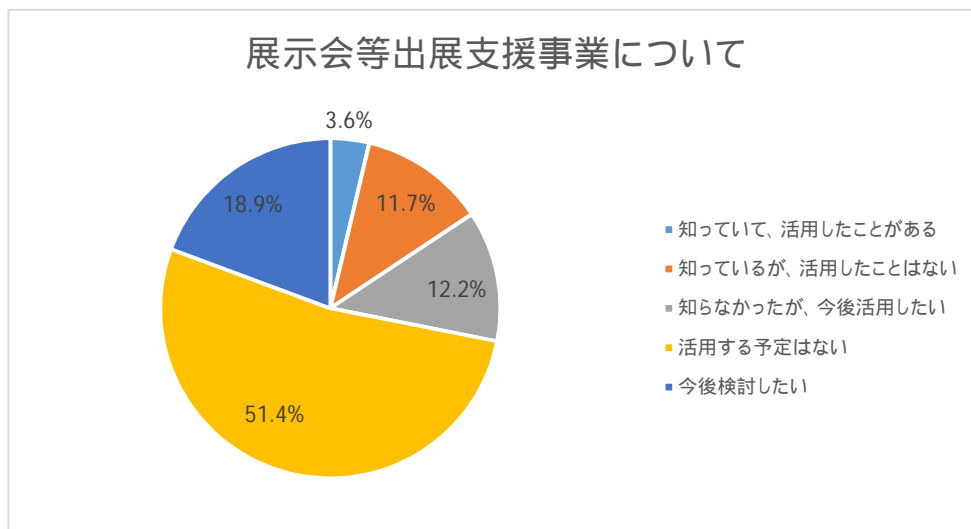
Q3-3 今後検討している販路について

- ・「販路拡大は考えていない」の回答が最も多く、70社であり、「戸田市内」64社、「近隣市」64社と続いている。
- ・「埼玉県内」よりも、「東京都内」や「日本国内」の販路を検討している事業者が多い。
- ・「海外」の回答は、7社である。



Q3-4 展示会等出展支援事業について

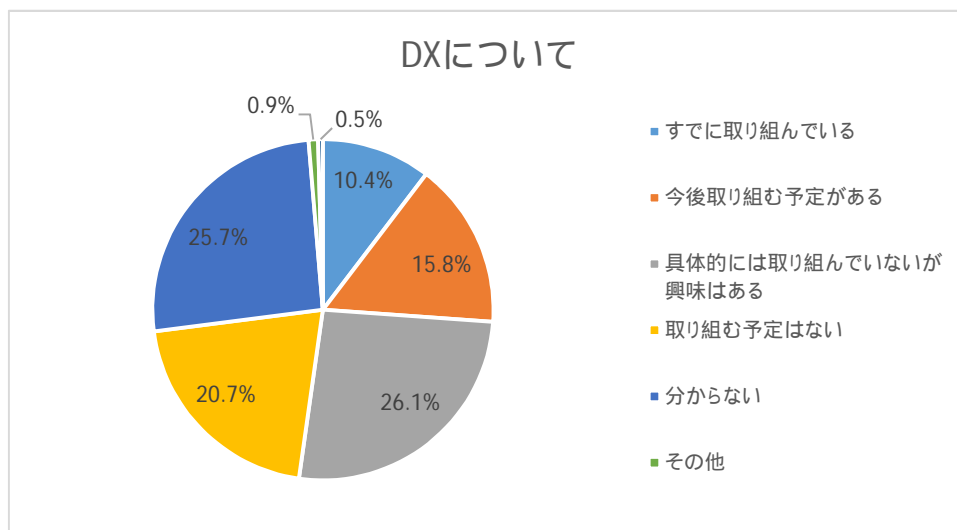
- ・「知っていて活用したことがある」と回答した割合は、3.6%である。
- ・「知らなかったが、今後活用したい」と回答した割合は、12.2%である。
- ・「活用する予定はない」と回答した割合は、半数以上を占めている。



4 デジタル化・DXについて

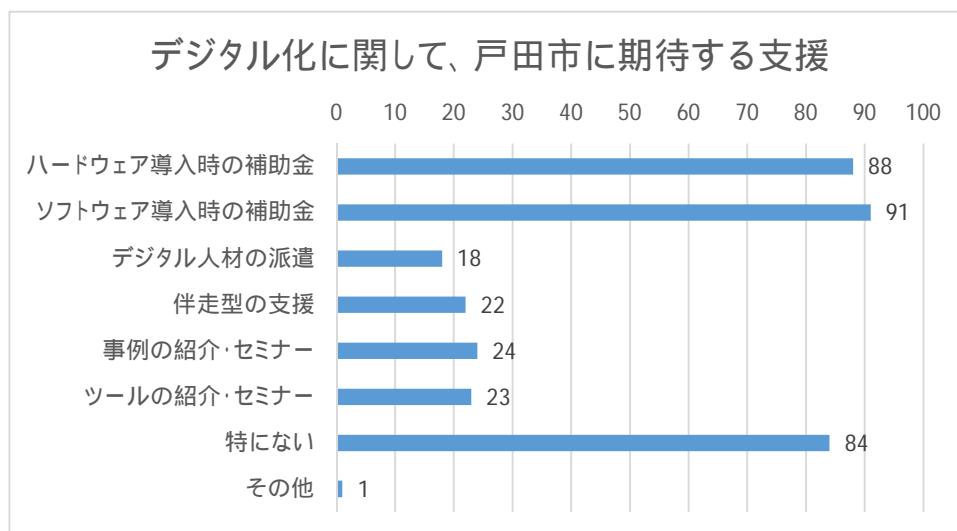
Q4-1 DXについて

- ・DXについて、「すでに取り組んでる」と回答したのは約10%、「今後取り組む予定がある」と回答したのは約16%であり、合わせると約1/4の事業者が予定を含めDXに取り組んでいる。
- ・「具体的には取り組んでいないが興味はある」と回答したのは約26%で、取り組んでいる事業者と合わせて約半数の事業者がDXについて前向きに捉えている。
- ・約1/4の事業者が分からないと回答している。



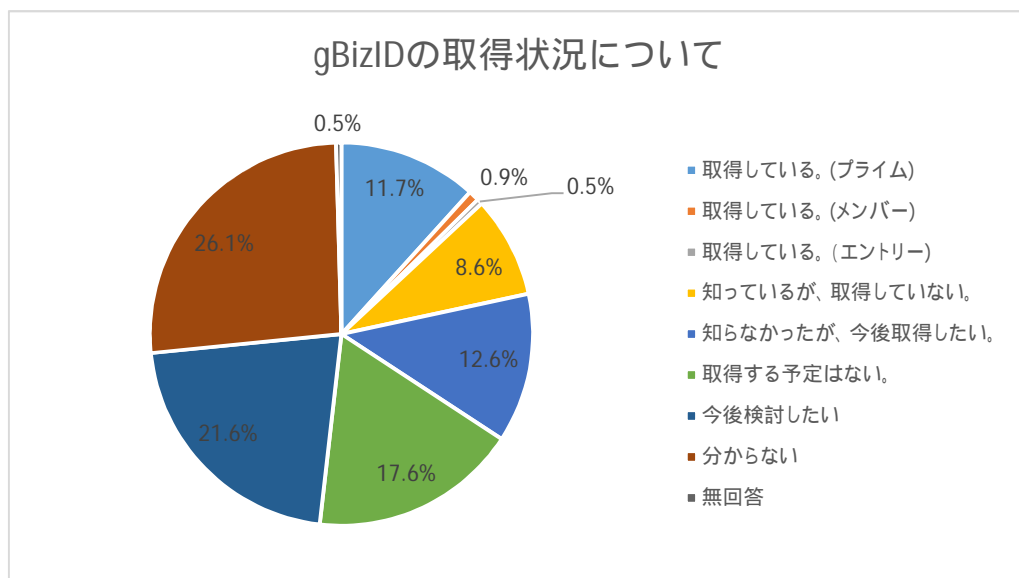
Q4-2 デジタル化に関して、戸田市に期待する支援内容について

- ・「ソフトウェア導入時の補助金」が最も多く、次いで「ハードウェア導入時の補助金」が多かった。
- ・「事例の紹介・セミナー」は24社、「ツールの紹介・セミナー」は23社であった。
- ・伴走型の支援は22社、デジタル人材の派遣は18社と、人材面でのサポートを期待する回答も見受けられた。
- ・「特にない」と回答したのは84社だった。



Q4-3 gBizIDについて

- ・gBizIDについて、「取得している」と回答した割合は、約13%である。
- ・「知っているが、取得していない」と回答した割合は約9%である。
- ・「知らなかったが、今後取得したい」と回答したのは、約13%、「今後検討したい」と回答した割合は約22%だった。
- ・gBizIDについて、「分からない」と回答した事業者が約1/4を占めている。



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2022年1月)
令和4年2月28日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)